



ほけんだより

12月号

朝夕の気温差が激しく、子どもたちは体調を崩しやすくなっています。新型コロナウイルスが心配されますが、これからインフルエンザやウイルス性胃腸炎の流行の時期に入ります。帰宅後、トイレのあと、食事の前には必ず石鹸や流水で手洗いをするようにしましょう。

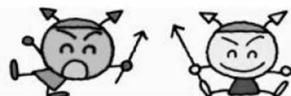
ウイルス性胃腸炎に注意!

ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルスなどの感染によって突然の嘔吐と下痢、腹痛の症状があらわれ発熱する場合もあります。嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状などになると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

<ケアのポイント>

★湯さましや番茶、イオン飲料などをこまめに飲ませましょう。

★おむつをしている子は、お尻がただれやすいので清潔にしましょう。



知っておこう

おう吐物の処理



冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふきとる。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分をふき、消毒液は十分に水拭きします。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯するか、塩素系漂白剤を少量入れて洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。